



三和ホールディングス株式会社

証券コード：5929

第86期

# 中間報告書

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日



変わる時代に変わらない  
「安全、安心、快適」を  
引き続き提供してまいります。

代表取締役社長 高山 靖司

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。  
ここに、当社第86期（2020年4月1日～2021年3月31日）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

## 当第2四半期連結累計期間の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取巻く外部環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外の移動が制限されるなど経済活動が停滞し、景気が急速に悪化しました。しかしながら、5月以降の諸制限の緩和に伴い、先行きは不透明なものを経済活動に回復の兆しがみられました。このような環境下、当社グループは「三和グローバルビジョン2020」第三次中期経営計画の2年目を迎え、「グローバル・メジャー」としてのトップブランドの基盤を確立するための戦略に取り組んでまいりました。この結果、当期における売上高は、期初予想より改善し190,949百万円、営業利益は9,579百万円、経常利益は9,069百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,807百万円となりました。

## 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の継続により先行き不透明感はありますが、当第2四半期連結累計期間における当社グループ事業への影響が想定したほどではなかったこと、また足元の経済回復基調が継続するとの前提に基づき2021年3月期通期の連結業績予想（公表：2020年5月14日）を次の通り修正致しました。売上高は、30,000百万円増額し420,000百万円、営業利益は、8,000百万円増額し30,000百万円、経常利益は、8,000百万円増額し29,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、5,500百万円増額し18,000百万円としております。

当社グループは、社内のみならず取引先の皆様、調達先の皆様、施工技術者や製造・物流・設計・施工などの協力会社の皆様などさまざまなステークホルダーに支えられて、これまでも、そしてこれからも成長を続けてまいります。三和グループは21世紀においてもサステナブルな社会の創造に貢献できる企業グループを作り上げていきます。

株主の皆様におかれましては、当社の経営方針並びに諸施策をご理解いただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

## ●新型コロナウイルス感染症に対する当社グループの取組み

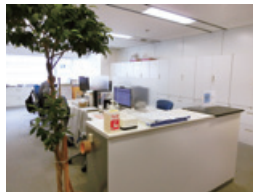
国内

・ 政府が発令した「緊急事態宣言」を受け、在宅勤務（テレワーク）を実施。また、会議や新入社員研修、採用面接などをテレビ会議システムで実施。



▲テレビ会議システムでの研修

・ 事務所、工場の机や受付にアクリル板を設置。



▲アクリル板の設置

・ 社内食堂では、時間差で昼食を取り、席の間隔を空けて利用するなど、密集を回避。



▲食堂の分散利用

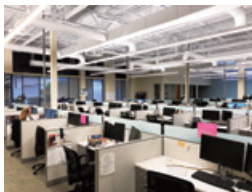
・ 組立式間仕切「ファミプラ」に、密集・密接防止、飛沫対策、新型コロナウイルス感染症防止等、様々な用途に対応した透明パネルを7月に追加発売。



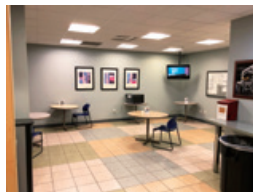
▲組立式間仕切「ファミプラ」に透明パネルを追加

海外

・ ODC（米国）では在宅勤務・Web会議を実施。本社では1割程度が出勤。出勤時の検温、会議室・カフェテリアのレイアウト変更、マスク着用などを徹底。また州政府よりEssential Business（必要不可欠な事業）と認定され、現在は全工場で通常稼働。



▲ODC  
コールセンターの様子



▲ODC  
カフェテリアのレイアウト変更

・ ノボフェルム（欧州）は欧州各国で政府のガイダンスに基づいたアルコール除菌、検温、在宅勤務、ソーシャルディスタンスの確保などの感染予防対策を実施。



▲NFフランス  
距離を保つためのライン



▲NFフランス  
共有物の使用を制限

## ●当社グループの第2四半期連結累計期間の主な出来事

三和の「耐風ガード」シリーズを発売



高強度シャッター  
「耐風ガード」 4月  
発売

商業施設や工場の大型開口部など高い耐風圧が求められる場所に設置する高強度シャッター「耐風ガード」を発売。



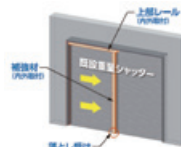
高耐風圧窓シャッター  
「マドモア耐風ガード」 7月  
発売

従来比3倍の業界最大の耐風圧強度を確保した高耐風圧窓シャッター「マドモア耐風ガード」を発売。



耐風形軽量シャッター  
「耐風ガードL」 9月  
発売

耐風圧性能を上昇させる可動式耐風フックを搭載した耐風形軽量シャッター「耐風ガードL」を発売。

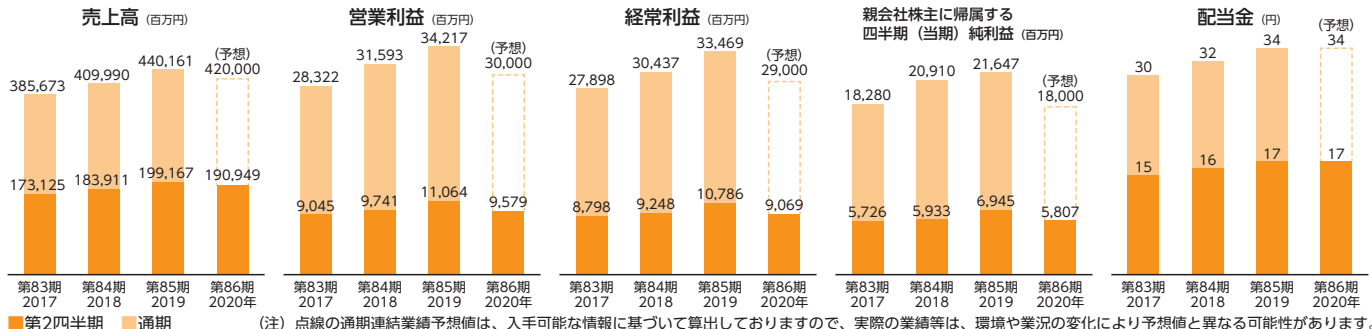


既設重量シャッター用補強部材  
「耐風ガードプラス」 9月  
発売

大規模改修が不要で、既設のシャッターに追加設置することで、大型台風に対応できる既設重量シャッター用補強部材「耐風ガードプラス」を発売。

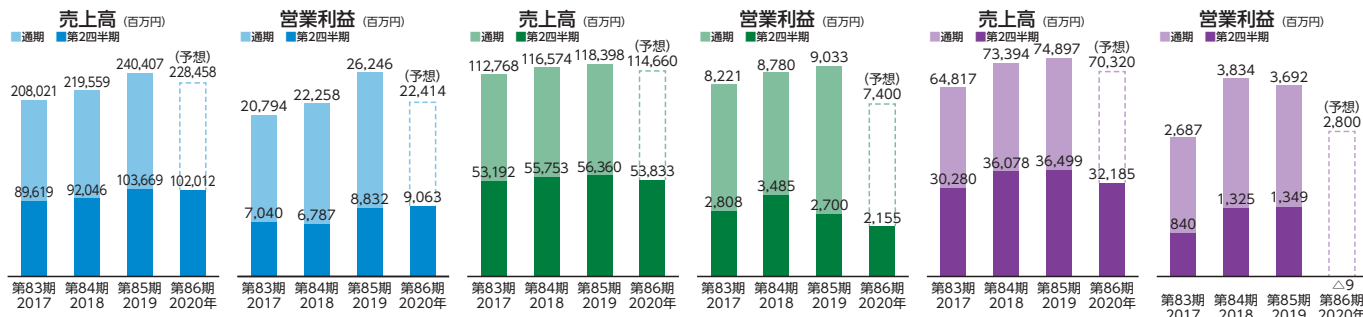
財務ハイライト（連結）

当第2四半期累計期間における業績は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けたものの、売上高は、期初予想（178,000百万円）に対し、7.2%増の190,949百万円となりました。利益面では、営業利益は、期初予想（5,100百万円）に対し、87.8%増の9,579百万円、経常利益は、期初予想（4,600百万円）に対し、97.1%増の9,069百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、期初予想（2,300百万円）に対し、152.5%増の5,807百万円となりました。

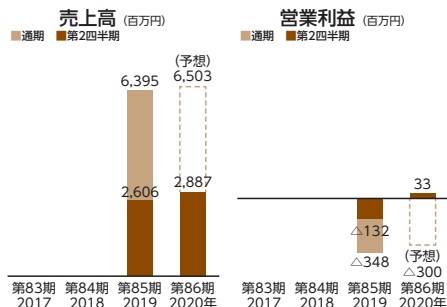


地域別営業の状況（第2四半期連結累計期間）

地域	売上高	営業利益
日本	102,012百万円	9,063百万円
北米	53,833百万円	2,155百万円
欧州	32,185百万円	△9百万円



地域	売上高	営業利益
アジア	2,887百万円	33百万円



(注) 1. 地域別セグメントに属さない数値は除いているため、各地域の売上高、営業利益の合計値は、連結売上高、連結営業利益とは一致しません。  
2. 点線の通期連結業績予想値は、入手可能な情報に基づいて算出しておりますので、実際の業績等は、環境や業況の変化により予想値と異なる可能性があります。

国内は、三和シャッター工業が数量減少分を販売価格アップとコスト削減により減益幅を縮小しました。国内子会社は販売価格効果およびコスト削減効果と鈴木シャッターの連結効果により増収増益となりました。

海外は、米国子会社がコロナ影響による数量減、商品ミックスによる販売価格の悪化を、コストダウンに取組み減益幅を縮小、欧州子会社もコロナによる数量減の影響を積極的なコストダウンで縮小、アジア子会社は回復傾向となりました。

## 四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

科 目	前期末 (2020年3月31日)	当第2四半期末 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	222,532	222,863
現金及び預金	47,127	65,882
受取手形及び売掛金	88,441	67,453
電子記録債権	9,283	8,910
有価証券	9,600	11,706
棚卸資産	61,917	65,666
その他	7,828	5,094
貸倒引当金	△ 1,666	△ 1,849
固定資産	131,491	127,783
(有形固定資産)	(69,091)	(68,146)
建物	22,052	21,342
土地	21,574	21,524
その他	25,465	25,279
(無形固定資産)	(23,292)	(22,207)
のれん	5,264	5,421
その他	18,028	16,785
(投資その他の資産)	(39,107)	(37,429)
投資有価証券	25,159	23,089
退職給付に係る資産	5,621	5,817
その他	8,773	9,089
貸倒引当金	△ 448	△ 566
資産合計	354,023	350,646

※当第2四半期末の有形固定資産の減価償却累計額104,997百万円

## 四半期連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)	当第2四半期累計 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)
売上高	199,167	190,949
売上原価	141,801	134,797
売上総利益	57,365	56,151
販売費及び一般管理費	46,301	46,572
営業利益	11,064	9,579
営業外収益	597	485
営業外費用	875	995
経常利益	10,786	9,069
特別利益	35	118
特別損失	204	77
税金等調整前四半期純利益	10,617	9,109
法人税等	3,632	3,257
四半期純利益	6,985	5,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,945	5,807

科 目	前期末 (2020年3月31日)	当第2四半期末 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債	114,071	101,264
支払手形及び買掛金	54,407	45,617
短期借入金	6,187	6,017
1年内返済予定の長期借入金	5,747	1,331
その他	47,728	48,298
固定負債	74,318	81,626
社債	40,000	40,000
長期借入金	11,795	19,545
退職給付に係る負債	13,688	13,450
その他	8,834	8,630
負債合計	188,389	182,890
<b>純資産の部</b>		
株主資本	160,005	162,088
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	91,725	93,761
自己株式	△ 10,036	△ 9,989
その他の包括利益累計額	4,059	3,991
その他有価証券評価差額金	94	473
繰延ヘッジ損益	41	11
為替換算調整勘定	6,531	5,819
退職給付に係る調整累計額	△ 2,607	△ 2,312
新株予約権	281	266
非支配株主持分	1,286	1,409
純資産合計	165,633	167,756
負債純資産合計	354,023	350,646

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)	当第2四半期累計 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,710	23,067
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,029	△ 2,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,434	△ 977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 364	△ 61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 11,118	19,732
現金及び現金同等物の期首残高	47,977	54,618
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	1,611	883
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,470	75,233

当社グループは、世界中のお客さまに安全、安心、快適な商品とサービスを提供することで、人々の大切な暮らしを守り、より豊かで暮らしやすい社会の実現を目指します。

災害から身を守る  
ことのできる  
安全な暮らし



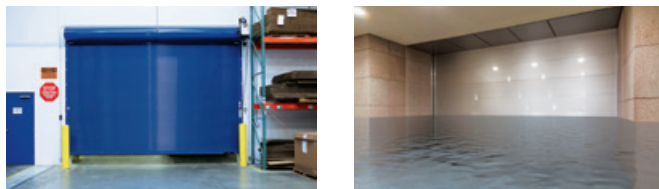
犯罪から命・財産を  
守ることのできる  
安心な暮らし



使いやすい  
動く建材を利用した  
快適な暮らし

## ①火災、洪水などの災害から守る

売上規模  
約**958**億円  
(2019年度連結実績)

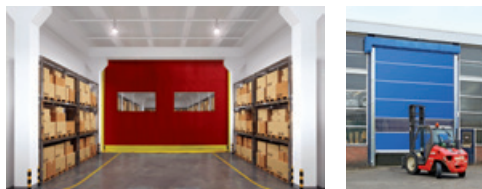


防火シャッターや防火ドアなどの防火設備は、オフィスビルやデパート、学校、病院など、多くの人が集まる場所に火災が発生した際に煙・熱感知器に連動して閉鎖することで一定時間延焼を食い止めます。また、防水シャッターや防水ドアは台風や集中豪雨が发生时に防水機能を発揮し、建物内への浸水を防ぎます。災害から命や財産を守り、安全な空間を提供します。

▶防災商品の詳細は次ページ

## ②工場、倉庫などインフラ機能向上に貢献する

売上規模  
約**1,145**億円  
(2019年度連結実績)



重量シャッターやシートシャッター、オーバースライダーなどは、工場、倉庫では適切な作業動線によって生産性を向上させ、かつ環境にも人にも優しい生産、物流現場とするために有効であることが求められています。

防火だけではなく、作業効率を上げるために開閉速度が速いシャッターや温度管理ができる断熱仕様は快適な空間の提供および環境商品として省エネルギー化にもつながります。近年著しいeコマース等の発展に欠かせない商品群です。

## ③パブリックスペースの利便性を向上させる

売上規模  
約**1,378**億円  
(2019年度連結実績)



軽量シャッターやスチールドア、パーティション、自動ドアなどはオフィス、商業施設、学校、病院、ホテル、駅などの不特定多数の人が行き交うパブリックスペースにおいて、訪れるお客さまにとって快適な空間を供給できる商品であることが重要です。さらに防犯、防火、断熱など、多くの社会課題を解決できる機能も備えています。

## ④生活安全を守り、誰もが快適に

売上規模  
約**1,152**億円  
(2019年度連結実績)



多様化するライフスタイルや加速化する少子高齢化社会の中で、住宅を取り巻く環境は社会の動きを強く反映し大きく変化しています。ガレージや窓シャッター、マンションドア、エクステリア商品などは、高い安全性はもちろん、防犯機能を向上させる安心機能、家庭での日々の暮らしの快適さが求められています。欧州などの寒冷地ではガレージドアは環境商品としての断熱性能も重要です。

## ・災害から守る商品



### 浸水被害を軽減させる

気候変動に伴い、大型台風や集中豪雨による浸水被害が増えています。浸水防止性能を統一した方法で評価するJIS規格が新たに設定され、ハザードマップで予測される浸水高さなどから、目的に合った浸水防止用設備を設置することができるようになりました。三和シャッター工業や鈴木シャッターでは防水シャッター・防水ドア、防水板と取りそろえており、地下街や建築物などの浸水災害の軽減を実現します。



ウォーターガード  
「防水シャッター」



ウォーターガード  
「Wタイトドア」



### 大型台風やハリケーンによる強風へ備える

大型化する台風の強風によりシャッターがガイドレールから外れる被害が増えています。三和シャッター工業の耐風ガードは、業界初となる耐風ガイドレールを使用した重量シャッターや中層用マンションにも設置できる窓シャッターがあります。ODCのガレージドアは、意匠性を損なうことなくハリケーンによる風荷重に耐えられる設計になっています。



高強度シャッター  
「耐風ガード」



高耐風圧窓シャッター  
「マドモア耐風ガード」



Wind Storm™



### 地震発生時の施設内閉じ込めを回避

地震発生後、外力によりドア枠に変形が生じ、扉が開閉できなくなることがあります。三和の耐震ドアは、戸を開放できる耐震性能がドア枠と扉のクリアランスを大きく確保し、耐震仕様の金物を標準装備することにより地震発生後に施設内に閉じ込められることなく、安全にドアを開放して施設外へ避難できます。



内廊下用玄関引戸  
「スムード悠楽」

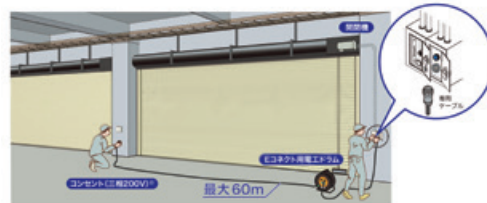


共用部用耐震SD  
「AKUZO」



### 停電時でも外部電源により自動巻き上げを実現

これまでのシャッターは手動閉鎖装置や防災信号により自重降下した場合、足場を確保して巻き上げる必要がありました。電源供給システムの導入により、停電時の電動式シャッターにおいても、バッテリー装置または発電機を接続すれば開放でき、BCP対策としても活用できます。



シャッター開放用電源供給システム「Eコネク」

その他、企業理念や事業活動内容をお伝えするため、統合報告書で情報を発信しております。下記アドレスよりアクセスできますので、併せてご参照ください。

統合報告書

URL : <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/library/annual.html>



## 会社の概要

- 商号 三和ホールディングス株式会社
- 創立 1956年4月10日
- 資本金 38,413百万円
- 従業員数(連結) 11,475名 (注) 従業員数は就業人員数を記載しております。
- 本社所在地 〒163-0478  
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号  
(新宿三井ビル52階)  
TEL (03)3346-3019 (代表)

## 主なグループ会社

### 日本

三和シャッター工業株式会社
昭和フロント株式会社
沖縄三和シャッター株式会社
三和タジマ株式会社
田島メタルワーク株式会社
三和システムウォール株式会社
株式会社鈴木シャッター
三和エクステリア新潟工場株式会社
ベニックス株式会社
昭和建産株式会社
林工業株式会社
三和電装エンジニアリング株式会社
上海宝産三和門業有限公司
三和シャッター(香港)有限公司
鈴木鐵閘(香港)有限公司
安和金属工業股份有限公司
Vina-Sanwa company liability ltd.
Sanwa USA Inc.
Overhead Door Corporation

### アジア

### 欧州

Novoferm Germany GmbH
Novoferm GmbH
Novoferm Riexinger GmbH
Novoferm Siebau GmbH
Novoferm Tormatic GmbH
Tor System Technik GmbH
Docking Solution and Service GmbH
Novoferm Vertriebs GmbH
Novoferm Nederland B.V.
Alpha Deuren International B.V.
Novoferm France S.A.S.
Norsud S.A.S.
Novoferm Schievano S.r.l.
Novoferm UK Ltd.
Horton Automatics Ltd.
The Garage Door Company Ltd.
Bolton Gate Services Ltd.
Novoferm Schweiz AG
Novoferm Door SP.z o.o.
Novoferm Polska SP.z o.o.
Novoferm Alsai S.A.
スウェーデン Robust AB

- ホームページアドレス <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/>  
ホームページで最新のトピックス、IR情報などを紹介、各グループ会社のホームページにもリンクしております。

## 役員

取締役会長	高山 俊隆	
代表取締役社長	高山 靖司	
取締役専務執行役員	藤沢 裕厚	グローバル事業部門担当
取締役常務執行役員	山崎 弘之	経営企画部門担当
取締役	高山 盟司	
取締役	横田 正伸	
監査等委員である取締役(常勤)	在間 貞行	
監査等委員である取締役(常勤)	米澤 常克	
監査等委員である取締役	五木田 彬	

- (注) 1. 横田正伸氏、米澤常克氏および五木田彬氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 当社は株式会社東京証券取引所に対して、横田正伸氏、米澤常克氏および五木田彬氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しております。

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 550,000,000株
- 発行済株式の総数 231,000,000株
- 株主数 11,264名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,027	8.61
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	16,108	7.29
株式会社三井住友銀行	11,037	4.99
第一生命保険株式会社	8,100	3.66
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,140	2.32
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,637	2.09
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,428	2.00
日本製鉄株式会社	3,968	1.79
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口5)	3,887	1.76
JP MORGAN CHASE BANK 385635	3,836	1.73

- (注) 1. 当社は自己株式10,107,040株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定日 定時株主総会議決権行使株主 3月31日  
期末配当金受領株主 3月31日  
中間配当金受領株主 9月30日  
その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日 100株
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先 株式会社東京証券取引所(証券コード5929)
- 上場証券取引所 電子公告により行う
- 公告方法 公告掲載URL <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に公告致します。

- (注) 中間報告書の記載金額、数値、持株数および比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。